

2023_0731「雄大積雲の発達（動画）」日々の理科 3281号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

夏の晴れた日は、午前中から関東平野各地で積雲（晴天積雲）が発生します。午後になって気温が上昇すると、特に大気の状態が不安定でなくても、雄大積雲（入道雲）に発達していきます。

発達した雄大積雲は圏界面（対流圏と成層圏の境界）が近づくと、それより上空には発達できなくなります。上昇の勢いを失った雲は、傘を広げるように横方向に広がります。その際、ベール雲や擬巻雲を伴うのが普通です。

今回の動画は、雄大積雲の最上部を望遠で撮ったもので、薄いベール雲や、形成初期の擬巻雲（氷晶雲）も映っています。動画は4倍速です。

(2023年7月下旬／北軽井沢小学校裏)

